

公益財団法人東京 2025 世界陸上財団
評 議 員 会
議 事 次 第

日時：2026 年 2 月 2 日（月） 午前 11 時～

場所：JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 3階 会議室 1

1 開 会

2 議 事

(1) 決議事項

- ・ 第1号議案 東京 2025 世界陸上レガシー事業の実施(日本陸連への資金の拠出)について

(2) 報告事項

- ・ 東京 2025 世界陸上 大会収支の見通しについて
- ・ 東京 2025 世界陸上競技選手権大会 大会報告書について

3 閉 会

【配付資料】

- ・ 東京 2025 世界陸上レガシー事業の実施(日本陸連への資金の拠出)について ……資料 1
- ・ 東京 2025 世界陸上 大会収支の見通しについて ……資料 2
- ・ 東京 2025 世界陸上競技選手権大会 大会報告書について ……資料 3

概要

- 東京2025世界陸上は、**アスリートの最高のパフォーマンス**が多くの人に**夢や希望を抱かせただけでなく**、デフリンピック選手等によるエキシビジョンレースやこども観戦招待等、**多くの都民・国民が参画できる陸上の普及事業やスポーツの力を最大限届ける取組等**を通じて**様々なレガシーを遺すことができた**
- こうした大会の開催を契機として得られた**レガシーを確実に継承していくため**、**日本陸連と連携して東京2025世界陸上レガシー事業**を実施していく

事業内容

1 陸上の普及振興事業

東京2025世界陸上を通じて醸成された**陸上やスポーツへの興味・関心を根付かせ、普及拡大する事業**

2 人材育成事業

東京2025世界陸上で培った**世界大会のノウハウ**を次世代人材につなげる事業

実施方法

- 日本陸連**は、東京2025世界陸上の**開催を契機に、大会の持続可能なレガシー**につながる事業を新たに実施。事業の実施にあたっては、**多様な人々が参画でき、都民、国民の健康増進**につながる内容としていく
- 世界陸上財団**は事業の実現に向け、日本陸連に**8千万円を拠出**する
- 大会のレガシーを確実に根付かせるため、**令和8年4月1日から令和11年3月31日までの3年間で実施**していく
- 日本陸連は、令和8年3月31日までにレガシー事業の計画概要について公表**予定

※本件については、日本陸連の理事会決議を経て確定していく

- 支出については、大会期間中も経費の縮減等に努め、最終計画（174億円）から約12億円減少する一方で、大会レガシーの発展に活用するため、新たに日本陸連への拠出金（0.8億円）を計上し、最終的に約11億円減少
- 収入については、大会直前から期間中のチケット売上の大幅な増に伴い、チケット収入が最終計画（44億円）から5億円増加。一方で、支出の削減等に伴う収支の改善を反映し、東京都負担金を減額（▲16億円）

➡ 収入・支出ともに163億円程度※となり、収支均衡となる見通し ※ 現時点の見込であり、変動の可能性あり

収 入

項 目	最終計画	決算見通し	
日 本 陸 連	10億円	10億円	
協賛金・寄付金等	40億円	40億円	
チ ケ ッ ト	44億円	49億円	➤ 5億円の増
国	20億円	20億円	
東 京 都	60億円	44億円	➤ 16億円の減
計	174億円	163億円	➤ 11億円の減

支 出

項 目	最終計画	決算見通し	
仮 設 等	36億円	35億円	
輸 送 ・ 警 備	16億円	17億円	
オペレーション	60億円	56億円	
管 理 ・ 広 報 等	56億円	55億円 ※1	
予 備 費	6 億円	※2	
計	174億円	163億円	➤ 11億円の減

※1 日本陸連への拠出金（0.8億円）を含む。

※2 緊急対応として予備費を活用した支出分（0.9億円）は各支出項目に計上

【参考】大会財政計画・見通しの推移



収 入

項目	当初計画 (R5.12)	最終計画 (R7.8)	決算見通し (R8.1)
日 本 陸 連	10億円	10億円	10億円
協 賛 金 ・ 寄 付 金 等	30億円	40億円	40億円
チ ケ ッ ト	30億円	44億円	49億円
国	80億円 (※1)	20億円	20億円
東 京 都		60億円	44億円
計	150億円	174億円	163億円

※1 当初計画では、「その他」として計上

支 出

項目	主な内容	当初計画 (R5.12)	最終計画 (R7.8)	決算見通し (R8.1)
仮 設 等	仮設設備、情報設備 等	30億円	36億円	35億円
輸 送 ・ 警 備	輸送、会場警備、 路上警備 等	15億円	16億円	17億円
オ ペ レ ー シ ョ ン	競技運営、会場運営、 宿泊・飲食・渡航 等	55億円	60億円	56億円
管 理 ・ 報 告 等	人件費・管理費 メディア関連 スポンサー関連 等	45億円	56億円	55億円
予 備 費		5 億円	6 億円	(※2)
計		150億円	174億円	163億円

※2 緊急対応として予備費を活用した支出分（0.9億円）は各支出項目に計上

1 考え方

- 東京2025世界陸上の大会運営組織として、熱気と歓声に包まれた本大会の記録・記憶を後世に残す
- 今後、国際スポーツ大会を運営する団体に活用され、運営の一助となるよう、取組を分かりやすく伝える

2 ポイント

- 大会基本情報やミッション、大会開催ビジョン、大会ロゴなどを冒頭に記載
- 特に、本報告書が一層活用されるように、大会実施に当たり工夫した点を一覧化
- アスリートの活躍を最大限伝えるため、競技のデイリーハイライト等を第2章に配置
- 第3章で組織運営を、第4章で各所管部門の業務内容を詳細に記載
- 全体を通じ総括的なパートを設け、大会準備・運営における工夫を詳細に記載
- 今大会の特徴的な取組である「暑さ対策」「セーフガーディング」などについて記載
- 大会のレガシーとなる「こどもの参画」「東京のプレゼンス向上」「持続可能性」「フェアネス」にも言及

3 構成

メッセージ

目次

第1章 大会概要

1. 基本情報
2. ミッション、大会開催ビジョン
3. 大会メインカラー、大会ロゴ等
4. 大会の成果を示す16の指標
5. 大会運営における様々な工夫

第2章 デイリーハイライト

1. 開会式
2. DAY 1
3. DAY 2
4. DAY 3
5. DAY 4
6. DAY 5
7. DAY 6
8. DAY 7
9. DAY 8
10. DAY 9
11. メダルセレモニー（表彰式）
12. 閉会式・ハンドオーバー

13. 会場周辺のにぎわい

第3章 組織運営

1. 大会招致
2. 財団設立
3. 事務局運営
4. 財政
5. WA及び日本陸連との連携
6. 関係機関等との連携

第4章 大会運営

1. ブランド
2. 広報・気運醸成
3. チケッティング
4. コマーシャルオペレーション
5. 開会式及び閉会式
6. 競技運営
7. メダルセレモニー（表彰式）
8. 医療
9. アンチ・ドーピング
10. 会場運営
11. ロジスティクス
12. アクレディテーション
13. 警備

- 14. 飲食
- 15. 施設設営
- 16. 情報技術
- 17. 出入国・ビザ（査証）
- 18. 宿泊
- 19. 輸送
- 20. メディアオペレーション
- 21. ブロードキャスト
- 22. プロトコール
- 23. ボランティア
- 24. C3
- 25. セーフガーディング
- 26. 暑さ対策
- 27. WAによる大会関連行事

第5章 東京都との協力・連携

第6章 2025年から生まれる新たな未来

- 1. こどもの参画
- 2. 東京のプレゼンス向上
- 3. 持続可能性
- 4. フェアネスを体現した組織運営
- 5. 新たなレガシー

終わりに

競技記録

付属資料

- 1. 組織体制
- 2. スポンサー一覧
- 3. 寄付をいただいた方々
- 4. 協力団体
- 5. 計画等一覧
- 6. 大会年表

4 各章の記載内容

第1章 大会概要（1～14ページ）

記載事項

基本情報 / ミッション、大会開催ビジョン / 大会メインカラー、大会ロゴ等 /
大会の成果を示す16の指標 / 大会運営における様々な工夫

第2章 デイリーハイライト（15～62ページ）

記載事項

開会式 / DAY 1～DAY 9 / メダルセレモニー（表彰式） / 閉会式・ハンドオーバー / 会場周辺のにぎわい


第3章 組織運営（63～98ページ）

No.	項目	記載事項	ページ
1	大会招致	大会招致の経緯	65～66
2	財団設立	財団設立に向けて / 設立時役員等候補者選考委員会 / 評議員会、理事会、監事 / 会長、副会長、事務総長、業務執行理事 / 委員会 / 顧問	67～70
3	事務局運営	開催基本計画の策定 / 組織 / 人事 / ガバナンス / 契約・調達 / 財産管理及び処分 / 監査 / 法務 / 進捗管理 / 大会時体制の構築 / 危機管理計画の策定 / サイバーセキュリティ / 保険 / 運営トレーニング	71～85
4	財政	財政計画 / 大会収支の見通し / 大会経費の縮減に向けた取組 / 収入財源の確保 / 大会時の緊急的な予算執行への対応	86～92
5	WA及び日本陸連との連携	Event Organisation Agreement (EOA) / サイトビジット / 幹部間ミーティング / 日本陸連	93～96
6	関係機関等との連携	東京都 / 国 / 競技会場等周辺自治体 / 世界陸上を支える多くの方々	97～98

第4章 大会運営（99～266ページ）

No.	項目	記載事項	ページ
1	ブランド	大会ロゴ／公式マスコット「りくワン」／ 大会モットー「Every second, “SUGOI”」／コアグラフィックス／ 公式ポスター／メダル／会場装飾／権利保護プログラム	101～107
2	広報・気運醸成	関係者との連携による気運醸成／大会アンバサダー／広報・PR担当理事／ 気運醸成イベント／大会公式WEBサイト・SNS／広告／街中装飾／ 会場周辺のにぎわい／パブリックビューイング	108～116
3	チケット팅	チケット概要・価格／チケット販売の概要（販売枚数、販売スケジュール、 大会公式チケットサイト等、チケット販売促進の取組）／チケット関連商品	117～126
4	コマーシャル オペレーション	東京2025世界陸上スポンサー／WAスポンサー／WAパートナーワークショップ／ スタジアムアクティベーション／スポンサーと連携した取組／コマーシャルディスプレイ／ 街中での気運醸成／スポンサーの認知活動／ホスピタリティサービス／ ライセンシング業務／観客への飲食サービス	127～140
5	開会式及び閉会式	開会式／閉会式・ハンドオーバー	141～143

No.	項目	記載事項	ページ
6	競技運営	実施体制の構築等 / 競技日程 / チームリーダーズ・サイトビジット / チームマニュアル / 事前キャンプ / 競技用備品 / コンペティションディレクター、WAコンペティションデレゲートとの連携 / ドレスリハーサル / テクニカル対応 / ロード競技 / イベントプレゼンテーション / ウォームアップ会場・練習会場	144～157
7	メダルセレモニー (表彰式)	メダルプラザの設置 / メダルセレモニーの実施 / 最終日のメダルセレモニー / ギフトの配付・プレゼンター	158～161
8	医療	医療体制（国立競技場、ウォームアップ会場・練習会場、チームホテル、その他ホテル、大会指定病院等、ロード競技、東京消防庁との連携） / 大会運営（医療体制全般、選手用医療、観客用医療、大会指定病院との連携）	162～167
9	アンチ・ドーピング	ドーピング検査実施における概要 / ドーピング検査計画と実施 / アウトリーチプログラム	168～170
10	会場運営	競技会場の運営 / ウォームアップ会場・練習会場 / 防火安全対策 / 会場清掃 / 廃棄物	171～182

No.	項目	記載事項	ページ
11	ロジスティクス	物流サービス / 通関及び輸出入支援	183～184
12	ア kredィテーション	ア kredィテーションの識別 / ア kredィテーション申請・登録 / ア kredィテーションセンター設置 / 各センターにおける運営体制	185～188
13	警備	警備体制 / 警備運用計画 / 警備業務（セキュリティスイープ、 セキュリティチェック、場内警戒・場外警戒、国立競技場周辺対策、 要人警備） 	189～192
14	飲食	基本方針 / 各会場における飲食提供 / 安全衛生対策 / 持続可能性への配慮	193～199
15	施設設営	国立競技場 / 仮設整備の考え方 / 仮設施設の整備 / 仮設施設の整備の工夫等の事例 / 仮設電気設備の整備 / 仮設電気設備の整備の工夫等の事例	200～207
16	情報技術	通信ネットワークの構築 / 周波数調整 / OA・通信機器の提供	208～211

No.	項目	記載事項	ページ
17	出入国・ビザ（査証）	査証対応 / 出入国対応 / 計画の策定	212～214
18	宿泊	宿泊施設の選定・確保 / 宿泊予約の受付 / 大会本番時の運営体制 / 大会本番時の対応	215～219
19	輸送	本大会における輸送の基本方針 / 大会関係者の主な輸送 / ウォームアップ会場から国立競技場への輸送 / 運行したバス・乗用車の台数 / 駐車場・車両入場管理 / 持続可能性への配慮 / 経費節減に向けた取組 / 計画の策定	220～227
20	メディア オペレーション	メディア関係エリアの準備・運営 / International News Agencies Meeting / メディア関係者向けサービス / 大手通信社向けレートカード	228～232
21	ブロードキャスト	国際信号制作に向けた準備・運営 / World Broadcaster Meeting / HBS・RHB向けサービス / RHB向けレートカード	233～237
22	プロトコール	国内・国際要人の観戦 / 大会関係者への接遇	238～240

No.	項目	記載事項	ページ
23	ボランティア	ボランティア募集 / ボランティアへの研修等 / シフト決定 / ボランティアのユニフォーム / 大会時のボランティア運営 / ボランティアの活動実績 / ボランティア活動の様子 / 活動後のボランティアの声	241～248
24	C3	C3チームへの上申・報告基準 / 定時レポート及び定例会議 / 台風15号への対応 / ロード競技のスタート時間の変更 / 強雨による競技の一時中断	249～252
25	セーフガーディング	セーフガーディングポリシーの策定 / 教育及び啓発活動 / 大会時における対象事案への対応 / 関係団体と連携した取組	253～255
26	暑さ対策	開催に当たっての対応 / 運営に当たっての対応（観客向け、選手向け、大会関係者向け） / 暑さ対策の検討・実施に当たって	256～261
27	WAによる大会関連行事	総会・社交行事 / Museum of World Athletics (MOWA)	262～266



第5章 東京都との協力・連携（267～273ページ）

記載事項

大会招致の支援／財団設立に向けた支援／東京都による財団への支援／
財団始動期の支援（役員等の適切な選考、理事会への参画、職員の派遣、契約・調達管理会議の運営）／
財団本格活動期の支援（東京都「ビジョン2025」を踏まえた「開催基本計画」の策定、
東京都の施策と連携した、大会における取組の具体化、人的・財政的支援）

第6章 2025年から生まれる新たな未来（276～314ページ）

No.	項目	記載事項	ページ
1	こどもの参画	東京2025世界陸上におけるこどもの参画（多様な人々の大会準備・運営への参画、こどもたちへの競技観戦や様々な体験機会の提供 / Kids' Athletics 表彰セレモニー	277～285
2	東京のプレゼンス向上	協定の締結 / 街全体でのおもてなし / 様々なプロモーション / 世界中の人々との交流 / 先進的な技術の活用	286～297
3	持続可能性	サステナビリティプラン（気候変動・エネルギー・暑さ対策、資源循環、環境改善、開かれた大会運営、多様性、陸上への関心、ウェルビーイング、気運醸成・アスリートによる発信） / ABW基準（Athletics for a Better World Standard）	298～304
4	フェアネスを体現した組織運営	本大会におけるミッション / 役員等の公正な選考 / コンパクトで機能する理事会 / コンプライアンス推進・利益相反の適切な管理 / 専門人材の直接雇用 / 高度人材受入制度の構築 / 透明性の高い手法によるスポンサー確保 / 公正な契約・調達制度 情報公開の徹底 / 監査機能の強化	305～310
5	新たなレガシー	東京ドリーム / 東京ブランド / 東京モデル	311～314